

私たちは、地域住民の心と身体の健康をささえる病院として
「こころのふれあい」を大切に、安心と満足、信頼を得られる医療を行ないます。

八幡青樹会病院 季刊広報紙

平成17年1月1日 発行
発行責任者 広報委員会
地域連携室

連絡先 医療社会事業課 0748-33-7104

青葉の風

 第4号

新年あけましておめでとうございます。八幡青樹会病院の季刊広報誌「青葉の風」第4号をお届けいたします。今年も当院広報活動の中で、豊富な話題を皆様にお届けする予定です。寒い毎日が続いていますが、今回の広報誌「青葉の風」も、寒さを吹き飛ばす暖かい話題、元気の出る話題を中心に、たっぷりお届けいたします。

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、すがすがしいお気持ちで希望に満ちた2005年の新しいお年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。さて一昨年の長浜青樹会病院に続き、昨年は私ども八幡青樹会病院も財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、600項目以上の細部にわたり病院の機能を第三者機関によりご確認いただきました。今年も当院の理念に基いた良質で安全な医療の提供、また患者様や地域の皆様にご満足いただける病院を目指し、職員全員が一丸となって取り組み続ける所存でございます。本年も変わらぬご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

財団法人青樹会 八幡青樹会病院

院長 由利 和雄

職員 一同



～ 八幡青樹会病院ニュース ～



青樹会病院野球部 第59回国民体育大会 軟式野球競技一般Aの部 優勝！

昨年10月埼玉県で行なわれました第59回国民体育大会（彩の国まごころ国体）で当院野球部が軟式野球競技一般Aの部で見事優勝を勝ち取ることができました。この部門での優勝は滋賀県では23年ぶりということで、滋賀県民スポーツ賞、近江八幡市体育協会金賞も併せて受賞させていただきました。日々の業務のかたわら、監督率いる部員全員のチームプレイが実を結んだもので、地元近江八幡市や県民の皆様の熱い声援にお応えすることができました。今年も全員野球で皆様のご期待に沿えるよう頑張りますので、ご声援の程よろしくお願いいたします。



歩きました30キロ！・・・30キロウォーク研修 新人のレポートより・・・



昨年11月7日に新人研修で30キロウォーキングがありました。違う職場でなかなか話す機会のない人とも歩きながら、空き缶を拾いながらたくさん話すことができました。観音正寺の階段登りは、日ごろ運動不足の私にはとてもきつかったです。でも声をかけあったりしながら登りきったときには気持ちのよい達成感でいっぱいでした。今回の研修を通して、一層親睦を深めることができたと思います。これからは研修だけでなく様々な場面で交流を持ち続けていきたいなと思いました。 看護部 1病棟 小脇 玲奈

喫茶カフェ・ド・歩° 歩° メニュー紹介

えびピラフ



今回おすすめメニューの紹介は小エビたっぷりのえびピラフです。メニューの検討や選択はカフェ・ド・歩° 歩° 運営委員会で行なっていますが、開店後の試食会で全員一致でメニューに盛り込まれたのがこのエビピラフです。一皿 250円と格安価格でご提供しております。ちょっとおながすいた時にいかがでしょうか。

ディケア・歩° 歩° 担当 スタッフ

木村 有里

質問 統合失調症（精神分裂病）とはどんな病気ですか？

=お答え= 統合失調症（精神分裂病）は名称から「心が分裂している」、「人格が二重、三重になる」などと思われがちですが、そうではありません。脳の働きが障害されて、現実を正しく判断する能力が妨げられたり、感情のコントロールや正しい意思決定ができなくなったり、よい対人関係をもつことが困難になる病気なのです。この病気は100人から120人に1人がかかる大変ポピュラーな病気で、思春期から30歳代頃までの発病が多いのですが、それ以外の年齢でも発病する可能性があります。稀には小児でも発病する場合があります。かつては偏見と誤解から「特別な病気」と受け取られていましたが、今日では治療ができる「脳の病気」であるとされています。早期に専門医の診察を受けて適切な薬物療法やリハビリテーションなどの治療を行えば、多くの方が自立した生活を送ることができるようになります。

青樹会病院の居宅サービス事業部についてお知らせします。

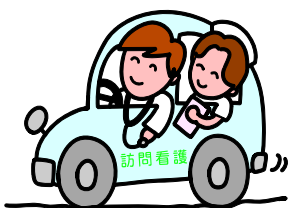
居宅介護支援事業所

介護の知識を幅広く持った専門家（ケアマネージャー）が、介護サービスの利用にあたって、介護を必要とする方や家族の相談に応じたり、アドバイスしたり、利用者の希望に沿った介護サービス計画を作成します。また、サービス事業者への連絡や手配、要介護認定の申請や更新手続きの代行、施設への入所を希望する方にあつた施設選びをお世話する事業所です。 【お問い合わせ電話番号 0748-33-9169】



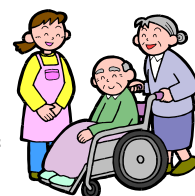
訪問看護ステーション

病気や障害・痴呆等でご自宅で療養されている方に、看護師がご自宅までお伺いし、病状の観察・医療的ケア及び相談、主治医と連絡調整を行ないます。訪問看護の手続きとして医療保険では、病院、医院、診療所（主治医）の指示書が必要ですので、外来主治医にご相談下さい。介護保険では、介護支援専門員（ケアマネージャー）に相談して頂ければ、指示書の手続きをいたします。 【お問い合わせ電話番号 0748-33-9165】



訪問介護ステーション

在宅生活を支える事業所です。介護支援専門員、障害者支援センター（ケアマネ）の介護計画に基づき、介護福祉士や訪問介護員（ホムヘルパ）が要介護認定者や障害者等の自宅を訪問し、お話し相手、身体の介護や生活の援助（掃除・洗濯・炊事等）、通院時の乗降介助等のお世話等をさせていただきます。【お問い合わせ電話番号 0748-33-0139】



ほのぼのエッセイ

鳩のヒナ

八幡青樹会病院 事務部長

植木 誠男



昨年の9月のある日、帰宅すると動物の好きな娘が鳥かごを持ってきて「鳩のヒナを拾ってきた！」と喜んで見せてくれました。可哀想に巣から落ちたのでしょうか、まだ黄色い産毛をつけ、親を呼んでいるのかピーピーと鳴いています。汚れた小さな体を見て、長くても命は3日程度か...と思いましたが、とにかく小麦粉を練った餌？をスポイトでくちばしから押し込んで数日間様子を見ることにしました。ところが数日後、私や娘の姿を見るとピーピーと元気に餌をねだるようになり、数週間後にはなんと羽ばたいて私たちの手に止まるようになりました。一ヵ月後には、立派な親鳩に成長し、鳩小屋を作ってあげると気に入ったのか、朝、放ってあげると夕方には必ず帰ってくるようになり、今では外出した時に30キロ以上離れたところから放つてもどこにも迷わずきちんと帰ってくるようになりました。娘に拾われたこのチビバト、今では家族の人気者。毎朝庭の小屋からグルッポグルッポと目覚まし時計代わりに私たちを起こしてくれています。

あとがき

光陰矢のごとし、といいますが、あっという間に2005年のお正月を迎えました。時の過ぎる早さを感じるとき、改めて一日一日を大事に生きていきたいと考えさせられます。前号でタイムマシンのことを取り上げましたが、その後タイムマシンに対する議論をいろいろなところで見かけました。すべてがまだ想像の世界、観念の世界ですが議論の中に人間のあくなき好奇心を見ることができて楽しいものです。

今年もよろしく願い申し上げます。 八幡青樹会病院 広報委員会